



平成17年6月23日

各位

会社名 株式会社メディビック  
代表者名 代表取締役社長 橋本 康弘  
(コード番号2369:東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員管理本部長 川井隆史  
(Tel: 03-5510-2407)

当社子会社メディビック・アライアンスによる  
投資銀行業務の開始に関するお知らせ  
～ライフサイエンス分野を中心としたフィナンシャルサービス提供拡大～

この度、(株)メディビックの100%出資子会社である(株)メディビック・アライアンス(代表取締役社長:小林 光、本社:東京都千代田区)は、(株)メディビック本体のコンサルティング業務を通じ拡大する投資育成ニーズ、ファンド組成などによる投資ニーズなどを受け、投資銀行業務を拡大するための体制整備を行い、メディビックグループの戦略的投資銀行としての活動を行うことといたしましたのでお知らせいたします。これは、メディビックの中心事業であるコンサルティング業務の拡大と捉えております。

メディビック・アライアンスはこれまで、メディビックが業務提携先との資本提携を行う際の投資有価証券等所有の受け皿会社としての機能を果たしてきました。平成17年3月末現在、当社グループは合計11社の投資有価証券を保有しております(うちメディビック・アライアンス保有分10社、メディビック保有分1社)。投資先企業に対しては、バイオ及びライフサイエンス分野における事業拡大支援や共同開発を中心に行ってまいりました。

しかしながら、投資先企業であるベンチャー企業に限らず、大手製薬企業、海外企業及び独立行政法人化した国立大学など各方面から、新しい資金調達スキームを利用した事業支援、株式上場及び資金調達に関する支援、同業他社の買収及び提携に関するアドバイスなどを求められるケースが飛躍的に増加いたしました。既に実績としては、第一製薬株式会社の研究開発支援を目的としたベンチャーファンドの設立、株式会社ファンドクリエーションが設立したファンドに対するアドバイザー業務、投資先企業数社の資金調達支援、独立行政法人化した大学に対する新たなファイナンススキームの提案、特別目的会社(SPC)を利用した資金調達支援などを行ってまいりました。

このようなニーズは今後も増加し、かつ高度に多様化することが考えられると判断し、メディビック・アライアンスとしてはこれらのニーズに応えるための人材確保、社外メンバーによる業務監査体制を含む社内体制整備を行ってまいりました。メディビック・アライアンスでは今後ライフサイエンス分野を中心として更なるファイナンシャルサービスの提供拡大を目指します。

なお、当社平成 17 年 12 月期（平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）における当期業績見通しに与える影響については未定でございます。業績見通しの変更などが出てきた場合には速やかにご案内申し上げます。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社メディビック・アライアンス 広報担当

TEL : 03-5251-2700

<メディビック・アライアンスの概要>

設 立 : 2004 年 4 月  
本 社 : 東京都千代田区霞が関一丁目 4 番 2 号  
代表者 : 代表取締役社長 小林 光 (株式会社メディビック専務取締役)  
資本金 : 6 億 6 千万円 (2004 年 12 月期)  
株主構成 : 株式会社メディビック 100%  
事業内容 : ベンチャー企業への投資、投資事業組合運営管理業務、投資先企業への事業育成、M&A などファイナンシャルアドバイザー業務、等

以上